

平成 21 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

# 刑 法 問 題 紙

B 日程

平成 21 年 2 月 22 日

16 : 00 ~ 17 : 30 ( 90 分 )

( 120 点 )

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60 点)

甲は、コカインを買うつもりで、密売人 A に代金を手渡し、封緘された封筒を渡された。甲は、この封筒にコカインが入っていると思い、開封せずに机の引き出しに入れて、これを所持していた。ところが、甲がコカインと信じて所持していた封筒の中身は、覚せい剤であった。この場合、甲の罪責を検討せよ。また、甲が自宅内に所持していた封筒の中身が大麻であった場合についても検討せよ（なお、甲の違法薬物所持に関しては、いずれも「営利の目的」ないこととする）。

ただし、問題を検討するにあたっては、以下の条文と法定刑を参考にすること。

- ・大麻草を所持する罪：大麻取締法 24 条の 2 第 1 項違反（5 年以下の懲役）
- ・コカインを所持する罪：麻薬及び向精神薬取締法 66 条 1 項違反（7 年以下の懲役）
- ・覚せい剤を所持する罪：覚せい剤取締法 41 条の 2 第 1 項違反（10 年以下の懲役）

## 問題 2 (60 点)

甲は、深夜自動車を運転中、過失により自転車を同方向に進行中の A をはねた。甲は、直ちに自動車を止め、路上に倒れている A のもとに駆け寄ったが、A はすでに死亡していた。甲は、すぐにその場を立ち去ろうとしたが、衝突の際の衝撃で開いた A のバッグの中に現金が入っているのを発見し、その現金 10 万円を持ち去った。

甲の罪責を論ぜよ（ただし、特別法違反の点は除く）。